

**平成26年度 北海道立生涯学習推進センター研修事業
生涯学習推進基本講座【道南会場】事業報告**

I 事業の概要

研修テーマ **社会の要請にこたえた生涯学習・社会教育の推進について
～地域活動に参画する人材の育成を目指して～**

- 1 趣 旨 人づくりや地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画等に関する基本的・実務的な知識や技術などについて理解を深める。
- 2 主 催 北海道立生涯学習推進センター
北海道社会教育主事会協議会（渡島管内社会教育主事会）
- 3 協 力 北海道教育庁渡島教育局
- 4 期 日 平成26年10月2日（木）
- 5 会 場 渡島総合振興局（函館市美原4丁目6-16）
- 6 参加対象 市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員など）、生涯学習関連施設（児童館、勤労青少年センターなど）職員等
30名
- 7 参加状況 31名（社会教育関係職員 28名、社会教育関係職員以外 3名）
- 8 日 程

10:00		10:15	11:15	12:00	13:00	15:20	15:30	16:30
受付	開会	講義 「地域活動に参画する人材の育成を目指した生涯学習・社会教育の推進について」	事例発表	昼食 休憩	ワークショップ 「地域活動に参画する人材の育成を目指して」	情報 提供	個別相談	

※ 個別相談について（希望制）

推進センター職員が、市町村の生涯学習・社会教育の推進に関わる中・長期計画策定等の個別相談に応じる。

9 活動の概要

(1) 講 義 「地域活動に参画する人材の育成を目指した生涯学習・社会教育の推進について」

【講師】北海道立生涯学習推進センター主査 柴野貴史

【内容】生涯学習、社会教育に関する動向について説明し、地域活動に参画する人材の育成を目指し、住民が主体となって地域活動に取り組んでいる事例等を紹介



講義の様子

(2) 事例発表

【発表者①】函館黒船地域活性化協議会会長 小林 一輝氏
 【内 容】同会が函館市の活性化のために音楽やファッション、食をテーマに実施している野外イベント「黒船」について、若者たちが試行錯誤を重ね、民間の力や発想を生かし、6年間で約1万5000人を動員するイベントに成長した取組の様子を紹介



事例発表の様子

【発表者②】木古内町教育委員会生涯学習課社会教育グループ主査 西山 敬二氏
 【内 容】木古内町における青年団体と行政との関わりについて、「木古内町地域活性化団体B.O.F」の立ち上げ時の社会教育担当職員の支援内容や木古内町青年塾の取組のほか、町内の若者約40人が企画した音楽イベントの取組についての事例を紹介



事例発表の様子

(3) ワークショップ「地域活動に参画する人材の育成を目指して」
 【ファシリテーター】

北海道立生涯学習推進センター主査 本田 憲司
 【内容】事例発表をもとに各市町村等の状況について情報交流を行った。また、地域活動に参画する人材を育成するための事業企画（学習プログラム）を作成し、それぞれの現状や課題について全体で討議した。



ワークショップの様子

(4) 個別相談（希望制）

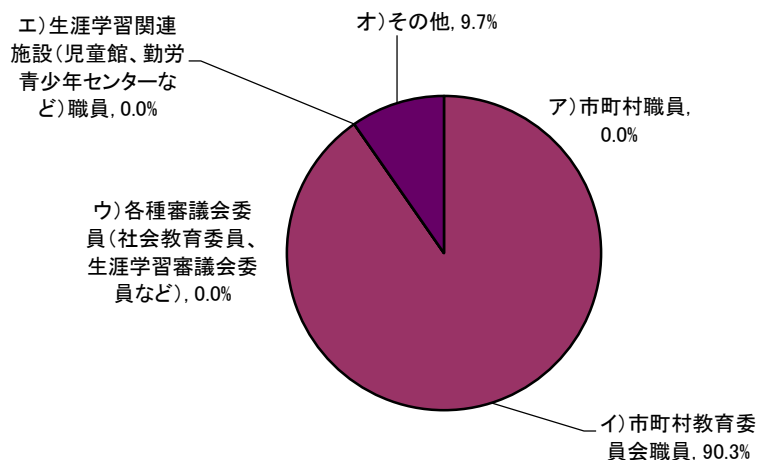
【対応】北海道立生涯学習推進センター主査 柴野 貴史・本田 憲司
 【内容】

七飯町	中期計画策定について
上ノ国町	中期計画策定について
洞爺湖町	中期計画策定について
木古内町	社会教育主事の専門性について

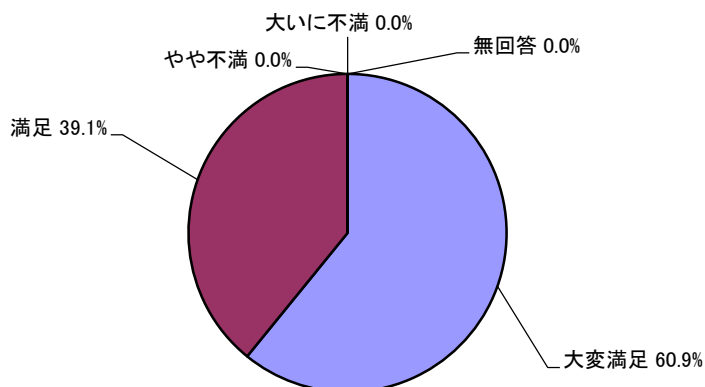
Ⅱ 事業の満足度

1 アンケート対象者数 31名 回答者数 23名 (回収率 74.1%)

参加者(所属)状況



2 講座全体をとおして

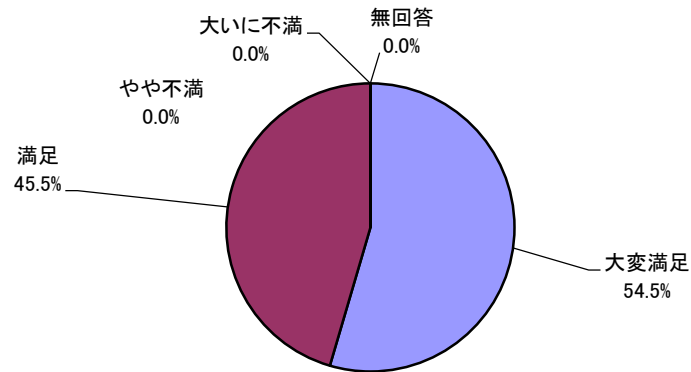


【参加者の声】

- 色々な方と直接、話ができよかった。
- 新しい知識が増えた。
- 自分の知らないいろいろな町の現状がわかった。
- しっかり準備されていて、運営も良かった。
- 各市町村の現状を知ることができて、自身の町との課題と似ているので情報交換ができた。
- 函館黒船地域活性化協議会の小林会長の話を聞き、新たな青年教育の在り方のヒントを得たような気がした。
- 他の町の取組が参考になった。
- 講義もワークショップも役に立つ話が聞けて、明日から「頑張ろう！」という気持ちになった。
- 研修会に参加する機会が少なかったが、久々の研修で参考になった。
- 次の活動に結びつく話を聞くことができた。
- 今やっている仕事を改めて見直してみようと思った。
- 他の市町村の現状を知ることができ、つながりが広がった。
- 違う地域の話や意見が聞けた。
- 様々な人と出会えて、いろいろな考えが聞けたから。
- 道南各地から様々な情報交流ができてよかった。

3 研修プログラムの内容について

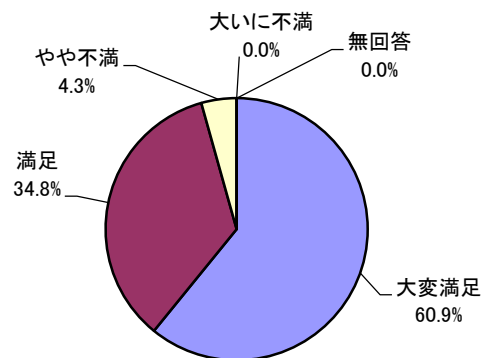
(1) 講義「地域活動に参画する人材の育成を目指した生涯学習・社会教育の推進について」



【参加者の声】

- イベント・社会教育事業の違いについて学んだ。
- 具体例が分かりやすかった。
- 社会教育行政職員が地域の人々となぐ仕組みづくりが理解できた。
- とても分かりやすい講義でした。
- 根本的なところをしっかりと教えていただいた。
- 民の力を強く感じた。
- 時間が短く質問したかったが、できなかったのが残念だった。

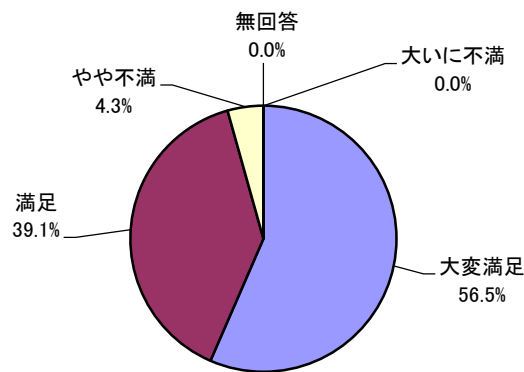
(2) 事例発表



【参加者の声】

- 函館市で行われているイベントについて、自分が知らなかったことが知ることができた。また、木古内町の事例発表からは、小さな自治体であってもやれることがあるのだと感銘を受けた。
- 函館黒船地域活性化協議会の取組では、若手を取り巻くところがすごいと感じた。
- 本日の事例発表は、参考とさせていただくところが多かった。我が町でも何とかしなければと思った。
- 青年教育の難しさ、楽しさが伝わる内容だった。改めて青年教育の重要性を感じた。
- 事例発表者の地域に対する熱い思いが伝わってきた。
- 主催者（事例発表者）の気持ちが伝わってきた。
- 若者が動くには何が必要か考えさせられた。貴重な内容で参考になった。
- 民間団体が行っている社会教育関連事業の他の事例を知りたい。
- 時間が短く、質問ができなくて残念だった。
- 話し合う時間が少なかった。

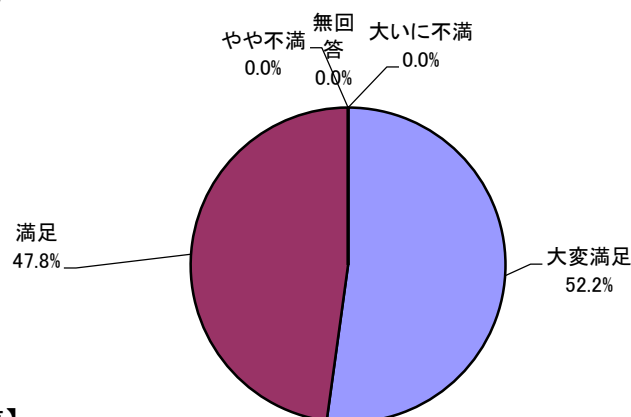
(3) ワークショップ「地域活動に参画する人材の育成を目指して」



【参加者の声】

- 他の町の課題や考えていることを聞くことができ参考になった。
- なぜ、その事業を行うのか、どんな町にしたいのか、その思いを共有できる人がいることが大切なのだと感じた。
- 大変有意義な話し合いができた。
- 青年教育の位置づけ、普及方法、アイデアを学べた。
- 他の市町村の事例を理解することができた。
- 社会教育事業の課題解決につながるヒントがたくさん聞けて良かった。
- 自分の参考や学びになる話、アドバイス等をたくさん聞くことができた。
- 大変難しい作業（ワークシート作成）だった。
- 青年教育に視点をおかなくていいのなら、2本の事例発表の意味がなかったように感じる。
- 各々のアイデアを交流したが、事例発表の事例の成果・課題を交流したら、より具体的な交流ができたかもしれない。

4 研修講座の運営について



【参加者の声】

- 流れもよく、ファシリテーションの勉強になった。
- 今後の事業に参考になった。
- わかりやすく、臨機応変に対応しているところをまねたい。

- 他の町の話聞いて良かった。同じような課題を抱えているようで少し安心した。
- 進め方、時間の使い方が良かった。
- 他市町村の事例から学ぶことが多くあり、センターの研修は勉強になる。
- 研修会全体の組み立てが良い。
- スムーズな進行で良かった。

5 その他、本講座をとおして気づいた点

【参加者の声】

- 他の参加者との交流が多く、学びの多い講座となった。
- 来年度もぜひ開催してほしい。
- 自分は民間団体の職員だが、行政職員の皆さんは、自分たちの町の取組に対してとても情熱的に取り組まれているのを肌で感じ、とても感銘を受けた。
- 道南の仲間での研修会だったので、気楽に参加することができた。
- 情報交換をもっとしたい。
- もっと話し合う時間がほしかった。
- ワークショップでは、青年という視点からぶれない方が良かったのではないか。

6 今後の要望等

【参加者の声】

- ・ スポーツ関連の事業があったらよい。
- ・ 道教委として、どのような視点をおいて研究を進めるのをはっきりさせ、それに合った勉強会の実施。
- ・ 今後もこのような研修会を複数回実施してほしい。